

## **A.経営の方向性及びデジタル技術等の活用の方向性について**

### **a.デジタル技術が社会や自社の競争環境に及ぼす影響について**

ウイズコロナ・アフターコロナに向けて、物理的な接触を前提としたビジネスモデルに変革が起きており、デジタル技術等の活用が社会全体に広がっています。当社が展開する事業のひとつであるデジタルコンテンツ、デジタルマーケティングの役割も拡大しているため、社会や企業のデジタル技術等の活用の方向性を見極めた上で、柔軟な事業展開が求められています。

### **b.経営ビジョンやビジネスモデル**

上記の社会動向を踏まえ、当社の経営においても、積極的に先端デジタル技術等の活用を図り、新たなビジネスモデルの構築と、既存事業における、より付加価値の高いサービスを提供する必要があります。当社が提供している店舗ビジネスにおいても、顧客と市場の状況を正確に把握し、よりリアルタイムに高度なサービスを提供することで、競合優位性を高め、新規顧客の開拓、事業拡大を目指します。

## **B.経営ビジョンやビジネスモデルの実現のための戦略**

より付加価値の高いサービスの実現、および生産性の向上を目的に、DXの推進と、新たな形態の店舗開発を進めます。開発にあたり、デジタルマーケティングの効果的な活用と、DXにより当社の既存業務フローの課題を解決することで、取引先の事業拡大や生産性向上につながる機能を実現します。

## **C.戦略を推進するための実施体制**

上記の戦略を効率的に実施するため、代表取締役の指揮のもと、社内スタッフだけでなく外部のソリューションパートナーと協業のうえサービスの開発を推進します。